

安泉寺ハザード会だより 10.1号

◆9月16日、ハザード会で、堀田さんと立松さんを招き、お話をさせていただきました。

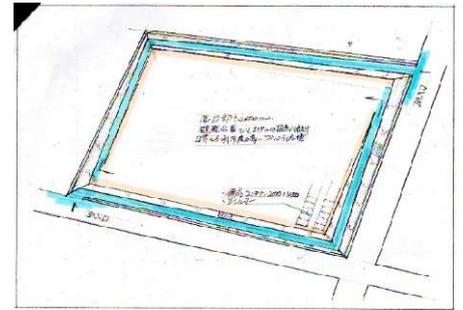
文責：野呂博子



堀田正三氏 はざまぐみ 元間組名古屋支店長（土木工学の専門家）

★堀田正三氏の構想

◆ビル建設・その他建築物を作る時、大量の残土が出る。残土は施工業者から無料で引き取ることが可能。行政に高台設置として残土の引き受けを是非お願いしたい。



◆立田・八開地区は高い建築物が無い。各

地区に高さ7m位の高台が必要。建設のため見積り・設計図を考えた。

★ハザード会の高校生の意見

◆私たちハザード会は2016年から毎年東日本大震災の被災地に行き、被災者の方から話を聞き現場も見てきた。今年は能登半島地震の災害ボランティア活動に行き、改めて地元の災害対策に危機感を持った。◆海拔0mの愛西市、特に木曾川添いは水害のリスクが高いにも関わらず、災害の際に住民が避難できる高台が無い。自分たちの力だけでは高台設置は難しい。しかし地域住民の命を守るために、住民・行政と話し合いながら少しでも実現に向けて行動していかなければならないと強く思う！

★地域の方からの意見

◆高台設置の話し合いの際に地元の方から、「愛西市に、自分の田んぼ5反^{たん}寄付してもいい。行政との協力で、そこに避難場所として高台を作ると住民が安心できるのではないか。」という申し出がありました!!

⊗高台設置は、以前市長さんとの話し合いの場でも色よい返事がなかったので、具体的に進めることに半ばあきらめのような気持ちがありました。地元の方からこのような意見が出ると、ハザード会の目指す高台設置が一気に具体性を帯びたようで、大変心強く思います。

立松英樹氏 あま市社会福祉協議会職員（老僧の教え子）



4名で寄付物品を届けました

★立松氏の報告【4月に1週間珠洲市災害ボランティアセンターで支援活動】

◆8月石川県珠洲市社会福祉協議会へ除菌スプレー200台寄付。珠洲市は少しずつ変わりつつあるがまだ被災の痕跡が強く残っている状態。◆愛西市でも巨大地震・台風等自然災害が発生した場合暮らしは大きく変わる。災害時にまわりの人との繋がりは大事である。◆災害はいつ起こるかわからない。まず身近な減災・防災に取り組む必要がある！

⊗今回珠洲市は追い打ちをかけるように豪雨災害にみまわれました。心よりお見舞い申し上げます。（裏面へ→）

◆9月15日、防災講座が行われました

文責：野呂美道



◆弥富市の社会教育センターで、あんどうりす氏のお話がありました。彼女は防災をテーマに全国で講演しているその道の達人です。私たち3名はグループを組んで、津波から逃げるルートを地図上で探しました。◆川は避ける、できるだけ近くの山に逃げる、マンションは鍵がかかっている入れないことがある。遠くの高い山よりは、近くの高台へ逃げるほうが有利、などなど様々な想定をしてルートを探しました。◆実際は、迷っている時間がないと思われま。また、「津波てんでんこ」と言われているように、家族や知人を探しに海のほうへ向かうなどは厳禁！誰もがそれぞれに逃げていくはずだと信じて、自分の命を最優先に守

べき。最終的に避難場所で、家族や知人と再会することが大切！これは大変な決断を要することです。◆上の写真は人を動かす方法です。被災者に手を組んでもらい、救助者は被災者の脇の下から手を入れて組んだ手を持ち、腰を引いて後ろに動かすと、比較的容易に運べるという実演です。知っておくといざという時に役立ちます。

◆市会議員に、市と話し合うための方法について、話しを聞きました

◆9月21日、安泉寺に市議を招き、市に避難場所を設けてもらうための方法を聞きました。市への申し入れ活動は色々な方法があるということ。まず、市議会への陳情と、請願という方法を探ることを勧められました。どちらかという、請願のほうが、取り上げられる確率が高いようです。◆まず、どういうことをお願いするのか、これまでのハザード会が行ってきた活動を紹介し、市への要望はどういうことなのかを文書で説明することが必要です。現在のハザード会の目指すことは、来たるべき大災害に備えて、愛西市の各地に緊急避難場所を作ってもらうことです。◆指定避難所までは遠くに行きつくことができない可能性が高い地域は、近くの高台が必要です。まず、そこに緊急避難できれば、命を守ることができます。1000年に一度の最悪の事態に備えて、命を守る施設を考慮しておくことは、これからの未来の子孫にとっても大切な考え方です。◆スーパー台風が伊勢湾を襲い、高潮が起き、線状降水帯が襲い、木曾三川が増水し、決壊の恐れがある時に、南海トラフの巨大地震が発生したとしましょう。それが1000年に一度あるか無いかの災害です。そのようなときにも、ちゃんと命を守る手立てを私たちは考えておかねばなりません。◆きちんとした計画をもって、市に請願を出すことが大切だと説明を受けました。

◆そして、これには賛同者が必要です。市議会議員さんたちに説明し、賛同者になってもらうことが必要です。また、場合によっては署名活動も必要になるかも知れません。できるだけ多くの人々に私たちの要望していることを理解し、応援してもらう必要があります。議員さんたちは請願書については検討し議会にかけようかどうかの話し合いをしていただくことができます。◆もう一つ、大切なことは、市に要望を丸投げしないことだと教えていただきました。私たちハザード会も共に考えていく姿勢が大切だと。それが市民協働ということです。住民とともに、行政の方々と手を携え合って、ともにより良いものを目指して行動していく姿勢が大切だと教えていただきました。これらのことを念頭に今後行動していきたいと思っています。



◆参考例として蟹江の高台を紹介します。（上の写真）